



平成 29 年 10 月 25 日

各 位

会 社 名 四 国 化 成 工 業 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 兼 C.E.O.  
玉 城 邦 男  
(コード番号:4099 東証第一部)  
問 合 せ 先 執 行 役 員 経 理 部 長 片 山 和 彦  
(TEL. 0877 - 22 - 4111)

### 業績予想の修正、剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年4月28日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、平成29年10月25日開催の取締役会において、下記のとおり、平成29年9月30日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)を決議するとともに、平成30年3月期の期末配当予想を修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正について

##### (1)平成 30 年 3 月 期 連 結 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (平 成 29 年 4 月 1 日 ~ 平 成 30 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	49,500	7,000	7,400	5,300	90.71
今回修正予想(B)	50,000	7,500	7,800	5,500	94.14
増 減 額 (B-A)	500	500	400	200	
増 減 率 ( % )	1.0	7.1	5.4	3.8	
(参考:前期実績) 平成29年3月期	49,467	7,855	8,294	5,837	99.91

##### (2)修正の理由

化学品事業では、エレクトロニクス市場が堅調に推移し、機能材料、電子化学材料を中心とするファイン ケミカルが伸張しております。建材事業においてもインフラ建設などの需要の盛り上がりを受け、エクステリアの販売が好調に推移しています。また、上期の円安基調を受け、為替レートの想定を見直し、110円/米ドル、125円/ユーロとしました。これらの結果、売上高、利益ともに、当初の予想を上回る見通しとなりました。

注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されております。

実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

## 2. 剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正について

### (1) 剰余金の配当(中間配当)の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年4月28日発表)	前期実績 (平成29年3月期 中間)
基準日	平成29年9月30日	同左	平成28年9月30日
1株当たり配当金	11円00銭	10円00銭	8円50銭
配当金総額	642百万円	—	496百万円
効力発生日	平成29年12月1日	—	平成28年12月2日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

### (2) 期末配当予想の修正の内容

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回発表予想 (平成29年4月28日)	10円00銭	10円00銭	20円00銭
今回修正予想		11円00銭	22円00銭
当期実績	11円00銭		
前期実績(平成29年3月期)	8円50銭	10円00銭	18円50銭

### (3) 理由

当社は、株主に対する利益還元を経営の最重要政策のひとつと位置付けており、中長期の視点から適正な利益を確保しつつ、業績に裏付けられた成果配分を安定的に行うことを基本としております。

先般公表(平成29年10月13日)した「業績予想の修正に関するお知らせ」及び本日公表した「平成30年3月期 第2四半期決算短信」に記載のとおり、当第2四半期の実績は従来の予想を上回る結果となりました。

このため、平成30年3月期の中間配当につきましては、上記の方針や業績、財務状況に鑑み、当初予定しておりました1株当たり10円に加え、本年10月10日を以って創業70周年を迎えたことから記念配当として1円増配し1株当たり11円といたしました。

また、期末配当予想につきましても、同様に記念配当として1円増配し、上記のとおり1株当たり11円とさせていただきます。これにより、平成30年3月期の年間配当予想は、1株当たり22円となります。

以上